令和４年８月５日

復興政策部地方創生・ＳＤＧｓ推進室

**令和４年度　ＳＤＧｓ産学官民連携環境イベント開催要領**

**１　背景**

令和２年１月１６日に秋田県仙北市において開催された東北ＳＤＧｓ未来都市サミットにおいて、近年の異常気象の要因となる温室効果ガスの増加による地球温暖化傾向は、私たちの生活や生産活動が大きく関与していることを認識し、東北地方から選定されたＳＤＧｓ未来都市における持続可能なまちづくりの一環として、「気候非常事態宣言」により相互に連携していくこととしています。

また、令和４年４月には、環境省が目指す２０５０年カーボンニュートラルに向けて、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素の実現の姿を２０３０年度までに示す優れたモデル地区の「第１回脱炭素先行地域」に選定され、地球温暖化や防災を含む様々な環境問題を解決できる人材育成のための環境教育の機会を創出していくこととしております。

**２　目的**

　ＳＤＧｓ（よりよい未来をつくるための世界の約束）の達成に向け、自然の上に「社会」が成り立ち、その上に「経済」が成り立っていることを考え、市民がよりよく生きるためには、これら３つの分野の調和と、誰も置き去りにしない社会を創るため、その中心となる「環境」をテーマに関係団体と産学官連携（パートナーシップ）を図り、高い集客効果が見込まれる産業祭同時開催することで、より多くの市民の皆様に「環境について体感しながら楽しく学ぶ場」を提供し、次のとおり関心や意識を高めることを目的としています。

（１）二酸化炭素を排出しない環境に優しい仕組みを学ぶ機会の創出。

（２）「回収・分別・リサイクル」による社会実験を通した来場者のリサイクル意識の把握。

（３）地球温暖化や防災を含む様々な環境問題を解決できる人材育成のための環境教育機会の創出。

（４）地域発生未利用資源（食品ロス・農林水産資源）の適正管理と活用による環境保全の必要性を伝える

機会の創出。

（５）生物多様性を守ることの大切さを伝える機会の創出。

（６）家庭内における環境に対する関心を高め合うため親子で体験し楽しめる機会の創出。

**３　環境イベントのテーマ性**

「脱炭素（ゼロカーボン）」、「資源循環（サーキュラーエコノミー）」、「再生可能エネルギー」、「生物多様性」、「フードロス」、「未利用資源の活用」、「地産地消」、「ＳＤＧｓ環境教育」

**４　主催等（想定）**

（１）主　催　　東松島市

（２）共　催　　（一社）東松島みらいとし機構、東松島市地域おこし協力隊、あおい地区会、みやぎアップグレードリサイクル（宮城県産業技術総合センター、東北大学大学院国際文化研究科、芝浦工業大学、㈱コバヤシ、青南商事㈱）、日産自動車㈱、ネッツトヨタ㈱、損害保険ジャパン㈱、花王グループカスタマーマーケティング㈱、美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点（東北大学大学院環境科学研究科）、㈱口笛書店・東京農業大学農学部、野蒜塾、（一社）東松島市社会福祉協議会、ダイドードリンコ㈱

**５　開催日時**令和４年１１月２０日（日）午前１０時～午後３時

**６　開催場所**　　メイン会場：東松島市コミュニティセンター（東松島市矢本字大溜１－１）

リサイクル社会実験会場：矢本東市民センター（東松島市小松字下浮足１１５）

**７　概要**

　（１）ブース出展

（２）バイオマスプラスチック（石油資源節約素材）の利用と回収、再資源化の実証実験

　　　産業祭における出店ブースにて提供される飲食物について、本素材を活用した容器により提供、飲食後、リサイクルステーションにおいて分別・回収を行う。食べメッセ会場内において、今回のリサイクル活動に関する「みやぎ版アップグレードリサイクルプロジェクト」の紹介ブースを設置し、来場者に対し、持続可能な資源循環の仕組みについてより深く理解してもらうものとしています。